

令和6年能登半島地震にかかる支援について

1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された人々を支援するため、湖南市では募金箱を東庁舎1階総合受付、西庁舎1階、社会福祉センター1階に設置しています。お預かりした義援金は、湖南市社会福祉協議会から日本赤十字社を通じて被災地に送られます。

なお、市では領収書の発行はしていません。湖南市社会福祉協議会で発行できますので直接お持ちいただくか、湖南市社会福祉協議会(TEL72-4102)にお問い合わせください。

また、現在市では支援物資の受付はしていません。今後、被災地から支援物資の要請などがあった場合は市ホームページなどでお知らせします。被災地でも個人からの支援物資の提供は受け付けておられませんので、義援金などについてご検討ください。

ご理解ご協力をよろしくお願いします。



市ホームページ



☎福祉政策課(東庁舎) TEL71-2327 FAX72-3788

大地震に備えましょう

1月1日に石川県能登地方で発生した地震では、志賀町の震度7のほか、能登半島の多くの地域で震度6強や6弱を記録しました。今後発生が懸念されている南海トラフ地震や琵琶湖西岸断層帯を震源とする地震では、湖南市でも最大震度6強の揺れが襲うと想定されています。いつ起こるか分からない地震に備えましょう。

地震発生時の行動

●地震が発生したら…

まずは身の安全を！

緊急地震速報が発表されたときや大きな揺れを感じたときは、頭を保護し、頑丈なテーブルの下など物が落ちてこない・倒れてこない空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。外にいるときはブロック塀や自動販売機など倒れてきそうな物や建物のそばから離れるほか、落石やがけ崩れの危険がある場所からも離れましょう。

●揺れがおさまったら…

あわてず行動を！

倒れた家具や割れたガラスなどに注意し火元の確認をします。テレビやラジオ、携帯電話などで信頼できる情報を集め、避難するときはガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としてから避難しましょう。

ガラスの破片に注意！

地震直後は部屋の中に割れたガラスなどが散乱していることがあるので、すぐにスリッパや靴を履くなどしてけがをしないよう注意しましょう。

家庭でできる地震対策

●家具などの固定

家具などは壁面に接近させて置き、市販の器具などで倒れないように固定。扉が開いて食器など中の物が飛び出さないよう留金具の取付けや滑り止めシートの活用も有効です。

●閉じ込めを防ぐ

出入口や通路をふさぐような場所に家具や物を置かないようにし、就寝中に倒れた家具の下敷きにならないよう、寝室には高さのある家具を置かないようにしましょう。

また、手の届くところに懐中電灯やホイッスルを備えておくと、万が一閉じ込められた場合でも救助者へ自分の存在を知らせることができます。

●家庭内備蓄や非常持出袋の準備

自宅の耐震性が十分ある場合は、在宅避難も考えましょう。そのためには、食料や水、日用品の備蓄が必要で、保存の効く食品などを多めに購入しておき、使った分だけ補充する「ローリングストック」が有効です。

また、避難所へ避難する場合に必要なものをリュックサックに詰めておき、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。



☎危機管理・防災課(東庁舎) TEL71-2311 FAX72-2000